

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会  
2016年度決算報告

貸借対照表

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

平成29年 6月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
<b>【流動資産】</b>	8,508,251	<b>【流動負債】</b>	14,768,741
現金及び預金	7,640,883	前受会費等	2,155,000
前払金	649,000	前受金その他	125,000
未収入金	10,000	仮受金	12,424,325
仮払金	205,732	預り金	64,416
前払費用	2,636	負債の部計	14,768,741
<b>【固定資産】</b>	10		
(有形固定資産)	10		
器具備品	10		
		正味財産の部	
		<b>【正味財産】</b>	△6,260,480
		正味財産	△4,659,071
		当期正味財産増加額	△1,601,409
		正味財産の部計	△6,260,480
資産の部計	8,508,261	負債・正味財産の部計	8,508,261

## 損 益 計 算 書

自 平成28年 7月 1日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

至 平成29年 6月30日

科 目	金	額
【入 会 金 収 入】		円 32,000
【会 費 収 入】		
一 般 会 費 収 入	6,027,000	
学 生 会 費 収 入	62,000	
賛 助 会 費 収 入	600,000	6,689,000
【事 業 収 入】		
書 籍 頒 布	32,000	
購 読 サービス 会 費	233,750	
協 会 誌 収 入	260,000	
そ の 他 事 業 収 入	1,193,467	1,719,217
【雑 収 入】		1,036,628
収 益 合 計		9,476,845
【事 業 費】		7,250,468
【管 理 費】		3,827,786
費 用 合 計		11,078,254
当期正味財産増加額		△1,601,409

## 事業費・管理費

自 平成28年 7月 1日

一般社団法人日本パルチーシヨ工学会

至 平成29年 6月30日

科 目	金 額	円
<b>【事業費】</b>		
協会誌編集・発行費	3,240,595	
S I G 活動補助金	8,060	
支部活動補助金	163,349	
企画推進経費	1,612,536	
広報活動費	1,014,379	
専門委員会経費	1,170,959	
理事活動費	40,590	7,250,468
<b>【管理費】</b>		
公認会計士顧問料	259,200	
会議費	240,992	
通信費（電話）	38,046	
通信費（郵送料）	151,619	
事務用品費	63,737	
送料（運賃）	8,967	
印刷費	155,921	
事務局備品リース料	249,480	
管理委託費	33,079	
事務委託費	720,000	
支払手数料	5,960	
収納代行手数料	169,526	
その他手数料	4,644	
理事会旅費	1,726,615	3,827,786
事業費及び管理費		11,078,254

## 2016 年度監査報告

2017(平成 29)年 7 月 15 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

会長□繁□成□□剛□様

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

2016 年度(平成 28 年度)監査報告書

私たち監事は、当協会定款第 60 条の規定に基づき 2016 事業年度(2016 年 7 月 1 日より 2017 年 6 月 30 日まで)の監査を実施したので、その方法および結果について以下の通り報告します。

### 1. □監査の方法および内容

□各監事は、理事および事務局長と意思疎通を図り、理事会その他重要な会議・主催事業に出席し、事業報告を受けるとともに会計帳簿ならびに決算書類につき閲覧調査しました。

### 2. □監査結果

- 1) 業務執行状況について監査した結果、理事の職務は法令および当会の諸規定に則り執行され、総会の決議した年間事業は概ね順調に実施されていたものと認めます。
- 2) 決算報告書、証拠書類等について監査した結果、本会の財産は適正に管理されていたものと認めます。

### 3. □付帯意見

- 1) 昨年度に比べ会費収入増、管理費節減となっており収支改善に努めようとしたことがわかります。しかしながら、復興支援講習会の収入減少、災害対策委員会による熊本支援事業の支出超過、理事会旅費支出（ただし、昨年度比 419,110 円減）等により、予算決定時の約 69 万円からさらに約 91 万円赤字が増大する決算となりました。
- 2) 新しい事業を含め当協会ならではの意義深い事業を展開されていることは確かですが、事業を継続するためにも、さらなる事業費・管理費縮減や会費値上げを含め、収支のバランスを取るための具体策を早急に検討されることを希望します。

監事□□相川□孝訓 印

監事□□赤澤□康史□印